

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付分 事業実施結果 個票

交付対象事業名	遠隔合同授業「上島モデル」(デジタル実装タイプ－TYPE1)			
事業の目的	町内の小中学校のGIGAスクール端末において、ネットワーク環境の高速化を実現することで、遠隔合同授業による協働的な学びの機会を創出したり、専門性の高い教師の授業を受けることのできるカリキュラムを組んだりして、子どもたちの学びを充実させる。また、AIドリルやデジタル教科書などのデジタル教材の利活用によって、子どもたちの学力向上や情報活用能力の育成につなげる。さらに、クラウドを活用して弓削高校の魅力化を配信し、地元中学生の弓削高校への進学率向上を目指す。			
個別事業の内容	【計画】5, 293千円 [遠隔合同授業の実施] 1. オンライン交流授業の実施 2. 大学や専門機関とつないだオンライン授業の実施 [デジタル教材の利活用] 1. AI学習ドリル(eライブラリ)を活用した学習 2. 授業や家庭でデジタル教材を活用した学習 [弓削高校の魅力化配信] 1. 弓削高校のイベントをタブレットで紹介 2. 公営塾通信をタブレットで紹介 【実績】3, 844千円 最新のネットワーク機器を導入した高速ネットワーク環境下で、安定した通信状態でのオンライン授業や授業配信が可能になった。また、AI学習ドリルやデジタル教科書の利活用、CBTシステムによる学力調査やアンケート等も、ネットワークの高速化によって、活用率が増え、教育DXが着実に進んでいる。			
本事業における重要業績評価指標(KPI) ※目標年月はR3.4				
指標	指標値 (2018～2022累計)	R4実績値 (2018～2022累計)	達成度	実績値に対する事業効果及び考察 (要因分析、要改善事項等)
① 遠隔合同授業の1週間当たりの平均時間数	250 分	200 分	80%	指標①・②・④については、高速ネットワーク機器の整備導入の時期が令和4年2月にずれ込んだことが影響している。令和5年度からは整備されたネットワーク環境下で積極的なオンライン授業やICTの活用が行われている。指標③・⑤については、AI学習ドリル及びデジタル教科書などのデジタル教材の利活用によって学びの選択肢が充実したこと、クラウドを使った弓削高校の魅力化配信などを行ったことなどの効果が見られる。
② 地元広報誌「かみじま」への遠隔合同授業の記事の年間掲載回数	6 回	3 回	50%	
③ 全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国比	2 %	5 %	235%	
④ 全国学テのICT活用に関する質問の肯定的回答率の全国比	5 %	-10 %	-197%	
⑤ 地元県立高校への進学率	55 %	68 %	123%	
上島町総合戦略等推進会議による評価			実績値を踏まえた事業の今後について(担当課)	
●総合戦略のKPI達成に有効な事業であったか ☒ 有効であった ☐ 有効とは言えない ●事業実績評価 (非常に効果的であった ・ 相当程度効果があつた ・ <u>効果があつた</u> ・ 効果がなかった) ●今後の方針 (発展 ・ 改善 ・ <u>継続</u> ・ 中止 ・ 終了)			●今後の方針 (発展 ・ 改善 ・ <u>継続</u> ・ 中止 ・ 終了) ●今後の方針の理由 離島の不利・不便をデジタルを活用して克服するための更なる教育DXを推進する。中学校における免許外教科担当の解消に向けて、通年での特定科目における遠隔合同授業を実施し、更なる学力向上と魚島離島留学の魅力化を図る。また、教職員のICT活用のスキルアップ研修を行い、授業改善や教職員の働き方改革につなげる。	

デジタル田園都市国家構想交付金

事業名	遠隔合同授業「上島モデル」				総合戦略掲載頁		
交付金の種類	デジタル実装タイプ TYPE1	総事業費 (千円)	5, 293 (529)	計画額 (千円)	5, 293 (529)	実績額 (千円)	3, 844 (384)

担当課	教育課	担当者	八木 春樹
-----	-----	-----	-------

事業の概要	取組内容	目標	目標達成度
町内の小中学校のGIGAスクール端末において、ネットワーク環境の高速化を実現することで、遠隔合同授業による協働的な学びの機会を創出したり、専門性の高い教師の授業を受けることのできるカリキュラムを組んだりして、子どもたちの学びを充実させる。また、AIドリルやデジタル教科書などのデジタル教材の利活用によって、子どもたちの学力向上や情報活用能力の育成につなげる。さらに、クラウドを活用して弓削高校の魅力化を配信し、地元中学生の弓削高校への進学率向上を目指す。	【計画】5, 293千円（※内 上島町負担金 529千円） (1) オンライン交流授業の実施 (2) 大学や専門機関とつないだオンライン授業の実施 (3) AI学習ドリル(eライブラリ)を活用した学習 (4) 授業や家庭でデジタル教材を活用した学習 (5) 弓削高校のイベントをタブレットで紹介 (6) 公営塾通信をタブレットで紹介	①遠隔合同授業の1週間当たりの平均時間数250分 (前年対比 250分の増加) ②地元広報誌「かみじま」への遠隔合同授業の記事の年間掲載回数 (前年対比 6回の増加) ③全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国比 2% (前年対比 2%の減少) ④全国学テのICT活用に関する質問の肯定的回答率の全国比 5% (前年対比 24.7%の増加) ⑤地元県立高校への進学率55% (前年対比 7%の増加)	①平均時間数 ▲50分 【達成度 80%】 ②年間掲載回数 ▲3回 【達成度 50%】 ③平均正答率の全国比 5% 【達成度 235%】 ④肯定的回答率の全国比 ▲10% 【達成度 -197%】 ⑤地元県立高校への進学率 68% 【達成度 123%】

事業計画(変更計画) (P)	実行(D) ※計画に対する実績	評価(C)・改善(A) ※実施後の分析、検証とその対策
(1)オンライン交流授業の実施	①魚島小中と岡村小で毎週オンライン朝の会を毎週実施【参加者10名】 ②朝のスピーチで交流【魚島中、弓削中20名参加】 ③7月オンライン人権学習での交流【町内全中学3年生28名参加】 ④9月オンライン交流学習【町内全中1,2年生57名参加】 ⑤9月平和学習に向けた事前学習【全小学校6年生18名参加】 ⑥10月平和学習の振り返り【全小学校6年生18名参加】	離島であることの不利・不便・不安をデジタルの力を活用して克服することを目指し、デジタル田園都市国家構想交付金事業を活用して、小中学校のネットワーク環境整備を行った。令和3年度からの小中学校における1人1台端末運用に際して、従来のEsnet(愛媛スクールネット)回線では、非常に細い回線を利用することで生じるネットワークにおけるボトルネックにより、通信速度の遅延が頻発していたが、高速ネットワーク機器を導入することで、ローカルブレイクアウトのネットワーク環境が実現し、学校においてストレスなくインターネットが使えるようになった。 その結果、オンラインによる交流授業やAI学習ドリルやデジタル教科書などのデジタル教材の利活用が進み、子どもたちの多様な学び方ができるようになった。 さらに、整備されたネットワーク環境を使って、地元の県立高校(弓削高校)の魅力子どもたちのタブレットに配信したり、公営塾の取組を紹介したりして、地元中学生の弓削高進学率の向上を目指した。 その一方で、教職員のICT活用スキルにおいて格差が見られ、特に50代のベテラン教員にとってはICT活用による負担感を感じることが多く、ICTによる授業改善が十分に進んでいない。
(2)大学や専門機関とつないだオンライン授業の実施	①6月今治市河野美術館とつないだオンライン授業の実施【魚島中、岩城中1,3年生20名参加】 ②7月今治市河野美術館とつないだオンライン授業の実施【岩城中2年生11名参加】 ③11月東北大学とつないだオンライン交流授業【全小学校4年生41名参加】 ④2月今治市河野美術館とつないだオンライン授業の実施【弓削中全校生徒参加者48名】	【令和5年度事業計画】 魚島離島留学においても、離島の不利・不便をデジタルを活用して克服するための更なる教育DXを推進するとともに、先進的なICT教育を提供することで、その魅力化につなげる。併せて、中学校における免許外教科担当の解消に向けて、通年での特定科目における遠隔合同授業を実施し、子どもたちの更なる学力向上につなげる。また、教職員研修の充実を図ることで、教職員のICT活用スキルの向上を目指す。
(3)AI学習ドリル(eライブラリ)を活用した学習	①授業内での活用【全小中学生275名活用】 ②朝ドリル(補充学習)での活用【全小中学生275名活用】 ③家庭学習での活用【全小中学生275名活用】	(1) 通年での遠隔合同授業プロジェクト ① 魚島中・弓削中2年生数学における授業環境の整備 ② 遠隔合同授業の実施環境の検証 ③ 遠隔合同授業の実施効果の検証 (2) 交流学習プロジェクト ① 毎学期、オンラインも活用した交流学習を実施 ② 対面での交流とオンラインでの交流のハイブリッド交流学習を実施 (3) 教職員スキルアッププロジェクト ① 授業力向上研修会でのICT活用研修を実施 ② クラウドを活用したGIGAスクール構想の情報提供及び情報共有を実施
(4)授業や家庭でデジタル教材を活用した学習	①デジタル教科書(国語、算数・数学、英語)の授業での活用【小学5年～中学3年142名】 ②えひめICT学習支援システム(EILS:エイリス)の活用【全小中学生275名活用】 ②愛媛新聞 for スタディの活用【全小中学生275名活用】	
(5)弓削高校のイベントをタブレットで紹介	①8月上島町子どもサミットで交流【30名参加】 ②8月弓削高校Y.M.T.C(弓削の魅力調査隊)を配信【小学4年～中学3年180名に配信】 ③10月弓削高魅力化プロジェクトを配信【小学4年～中学3年180名に配信】 ④11月フードグランプリ及び自転車甲子園再優勝を配信【小学4年～中学3年180名に配信】 ⑤3月総合的な探求の時間発表会をYouTube配信【小学4年～中学3年180名に配信】	
(6)公営塾通信をタブレットで紹介	①毎月公営塾通信を配信【小学4年～中学3年180名に配信】 ②2月公営塾講師によるワークショップの実施【中学校2年生40名参加】	